


第23回

障害福祉職場で働く職員の全国交流集会

第15回

全国重症心身障害児者療育研究集会



- ★日時 2017年11月11日(土) 12:45~17:30 (受付12:15)
11月12日(日) 9:30~12:00 (受付9:00)
(12:00~13:00に総会があります)
- ★会場 両日とも 国労大阪会館 (大阪市北区錦町2-2 06-6354-0661)
- ★参加費 3,000円 (1日のみ参加1,500円)、夕食交流会費 4,000円
*ガイドヘルパー等の介助者の方は参加費については無料です。
(但し、資料が必要な場合はお支払い願います)
- *手話通訳の必要な方は現地実行委員会までご相談下さい (9月中にお願いします)。 
- ★宿泊費 7,200円 東横イン・大阪梅田東 (大阪市北区西天満5-3-25 06-6313-1045)

★主催 障害福祉職場で働く職員の全国交流集会実行委員会

【連絡先】 全国福祉保育労働組合 障害種別協議会

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8 サニープレイスビル5階A

TEL 03-5687-2901 FAX 03-5687-2903

E-mail mail@fukuho.org URL <http://www.fukuho.info/>

【現地実行委員会】 全国福祉保育労働組合 大阪地方本部

〒543-8790 大阪市天王寺区悲田院町8-12 国労南近畿会館3F

TEL 06-6773-8441 FAX 06-6773-8292

E-mail fukuhoro@ofhr.net URL <http://www.ofhr.net>

★後援 きょうされん、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会

★ごあいさつ

全国の障害福祉の現場で働く仲間の皆さん、この度第23回障害福祉職場で働く職員の全国交流集会ならびに第15回全国重症心身障害児者療育研究集会を大阪の地で開催することになりました。

今集会ではテレビでも活躍されているフォトジャーナリストの安田菜津紀さんをお招きして、「写真で伝える世界、東北 ー紛争地、被災地からの声ー」をテーマに講演していただきます。実際に現地に足を運ばれ目の当たりにした紛争地域や被災地の現状と、その中でジャーナリストとして感じ得たこととお話ししていただきます。

また、分科会では各現場がかかえている働き方の問題や利用者支援の在り方について交流し、労働者が働き続けられる職場にするために何が課題か大いに語り合えればと思っています。

いま現地大阪では全国の仲間と大いに交流し、思い出に残る集会になるよう準備をすすめています。全国各地・各職場から多くの仲間の参加をお待ちしています。

現地実行委員長（大阪地本委員長） 多久和 令一

★タイムスケジュール

1日目 11月11日（土）	2日目 11月12日（日）
12:15 受付開始（3Fホール）	9:00 受付開始（3Fホール）
12:45 開会（あいさつ、基調報告）	9:30 記念講演
13:30 分科会 第1分科会「働き続けられる職場づくり」 第2分科会「障害者の暮らしを支える」 第3分科会「障害者の雇用・就労支援」 第4分科会「重症児施設の役割とこれから」	「写真で伝える世界、東北 ー紛争地、被災地からの声ー」 フォトジャーナリスト 安田菜津紀さん
17:00 分科会終了、全体会（分科会報告）	11:00 書籍販売・サイン会
17:30 休憩・夕食交流会準備	11:30 終了・移動
18:00 夕食交流会	12:00 全国障害種別協議会総会 * 障害職場の組合員の皆さんはご参加願います。
20:30 終了	13:00 終了



★記念講演 11月12日(日) 9:30~11:00

テーマ『写真で伝える世界、東北ー紛争地、被災地からの声ー』

フォトジャーナリスト 安田 菜津紀さん



【講演内容】

安田さんが、これまで取材をされてきたカンボジアの子どもたちや内戦の爪痕、東北・陸前高田でのフォトジャーナリストとしての転機、紛争が続く中東についてお話していただきます。

【プロフィール】

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE 所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。

2012年、「HIVと共に生まれるーウガンダのエイズ孤児たちー」で第8回名取洋之助写真賞受賞。写真絵本に『それでも、海へ 陸前高田に生きる』(ポプラ社)、著書に『君とまた、あの場所へ シリア難民の明日』(新潮社)。『写真で伝える仕事ー世界の子どもたちと向き合ってー』(日本写真企画)。上智大学卒。現在、J-WAVE『JAM THE WORLD』水曜日ナビゲーター、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。東京成徳大学非常勤講師。(現在、全障研月刊誌みんなのねがいに「明日も生きる」を連載中)



★分科会の内容 11月11日(土) 13:30~17:30 (報告全体会まで)

	テーマと内容
第1分科会	『働き続けられる職場づくり』 障害職場は日中支援や暮らしを支える支援、就労支援など多岐にわたっています。休憩が取れない、サービス残業をしているなど、少なくない職場で法令違反が見られます。より良い支援をめざしているにもかかわらず疲弊して休職や退職する労働者も出ています。今の職場ではどのような働き方をしているそれを組合としてどう考えれば良いのか交流していきましょう。
第2分科会	『障害者の暮らしを支える』 GHや入所施設、居宅支援など暮らしを支える支援は夜間や休日が主になります。月に何回も泊り勤務が入ったり、緊急時対応のため休日でも携帯が離せなかったり、日中支援とは違った緊張を強いられます。今の職場ではどのような働き方をして組合として改善のためにどのように取り組んでいくのか交流していきましょう。
第3分科会	『障害者の雇用・就労支援』 障害者の就労支援は企業回りや利用者が働いている企業に出向くなど日々、働く場所や働き方が違います。また、A型事業所では最賃を保障するため事業所の売り上げ増が求められます。就労支援の働き方について交流し合い、組合としてどうとらえていけば良いのか考えていきましょう。
第4分科会	『重症心身障害児施設が果たしてきた役割とこれから』 重症児施設ができ半世紀の時を経て、利用者は今まで以上に医療・介護度が高くなり施設の果たす役割は変わりつつあります。しかし、これまでと変わらない大切な役割もあります。立命館大学の田村准教授を交え、重症児施設の果たしてきた役割とこれからについて、学び交流していきましょう。

★会場案内

【国労大阪会館 大阪市北区錦町 2-2 TEL 06-6354-0661】



*JR 環状線「天満駅」から線路沿いに徒歩約3分
 *地下鉄・堺筋線「扇町駅」南改札口出て4番出口から高速高架下を徒歩約10分



【宿泊先：東横イン・大阪梅田東】

*地下鉄谷町線・堺筋線「南森町駅」1番出口より徒歩約3分

*JR 東西線「大阪天満宮駅」より徒歩約5分

(地下鉄「南森町駅」の1番出口を出て右に進んで、阪神高速道路の下の信号2個を渡ってすぐ右折。阪神高速道路沿い)

第23回障害福祉職場で働く職員の全国交流集会 &

第15回全国重症心身障害児者療育研究集会



参加申込書

【申し込み先】FAX 06-6773-8292(全国福祉保育労働組合大阪地方本部)

10月20日(金)締切り

(フリガナ) ()		性別	
氏名		男性	女性
福祉保育労 加入 未加入	地本支部名/分会名		
組合以外の参加 団体 法人 個人	その他(団体/法人名)		
住所 〒			
連絡先 TEL: 勤務先 携帯 自宅 (— —)			
宿泊希望 あり(禁煙 喫煙) なし	参加分科会 ()内「○」を記入して下さい		
参加日	両日・1日のみ(11日・12日)	()第1分科会『働き続けられる職場づくり』	
費用	参加費 3,000円(1日のみ1,500円)	()第2分科会『障害者の暮らしを支える』	
	夕食交流会 4,000円	()第3分科会『障害者の雇用・就労支援』	
	宿泊費 7,200円	()第4分科会『重症児施設の役割とこれから』	
費用計算	参加費()円+夕食交流会()円+宿泊費()円	合計()円	

※費用については、当日受付にてお支払下さい。